

施設概要

所在地	〒448-0833 刈谷市城町1丁目25番地1
電話・FAX	(0566) 23-1488
ホームページ	https://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/bunka/kyodoshiryokan/1005322.html
開館	昭和55年5月1日 (昭和3年に建築された亀城尋常高等小学校の旧本館を改修) 平成23年4月29日 (リニューアルオープン)
敷地面積	2,477㎡
建物延面積	1,461㎡ (1階面積780㎡、2階面積681㎡)
構造	鉄筋コンクリート造り瓦葺2階建て
開館時間	午前9時から午後5時まで
休館日	月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始など
イベント	はた織り体験 (毎週土・日・祝日開催)



※QRコードは
美デザインウェブの
登録商標です

案内図



〈交通〉JR東海道本線逢妻駅より徒歩20分
名鉄三河線刈谷市駅より徒歩15分
公共施設連絡バス「かりまる」小垣江・依佐美線「司町4丁目」バス停から徒歩5分
駐車場：亀城公園駐車場をご利用ください。

国の登録有形文化財 刈谷市郷土資料館



刈谷市郷土資料館の建物は、亀城尋常高等小学校の本館として、昭和3年(1928)10月に竣工しました。

設計は学校などの公共建築を手がけ、西三河で活躍した大中肇によるもので、正面中央に玄関車寄せを配し、左右に翼屋を張り出して屋根の妻面を強調しています。南側には教室を配置し、北側に廊下を設けた片廊下型です。鉄筋コンクリート造りの学校建築として貴重な遺構です。

のちに校名変更により亀城小学校となり、講堂の建て替えに伴いいったん取り壊しが計画されましたが、昭和55年(1980)に刈谷市郷土資料館として開館しました。

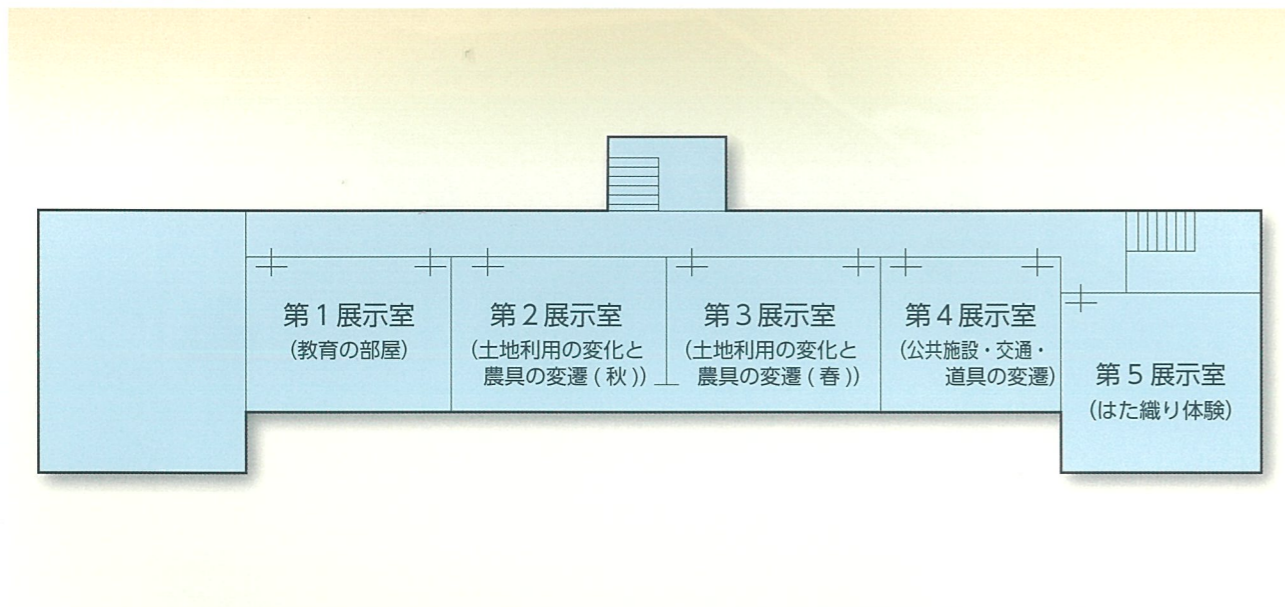
平成11年(1999)国の登録有形文化財になりました。

刈谷市郷土資料館は、平成23年4月29日（昭和の日）に新たに昭和30年代の教室や一般家庭の部屋の再現展示を加えて、リニューアルオープンしました。

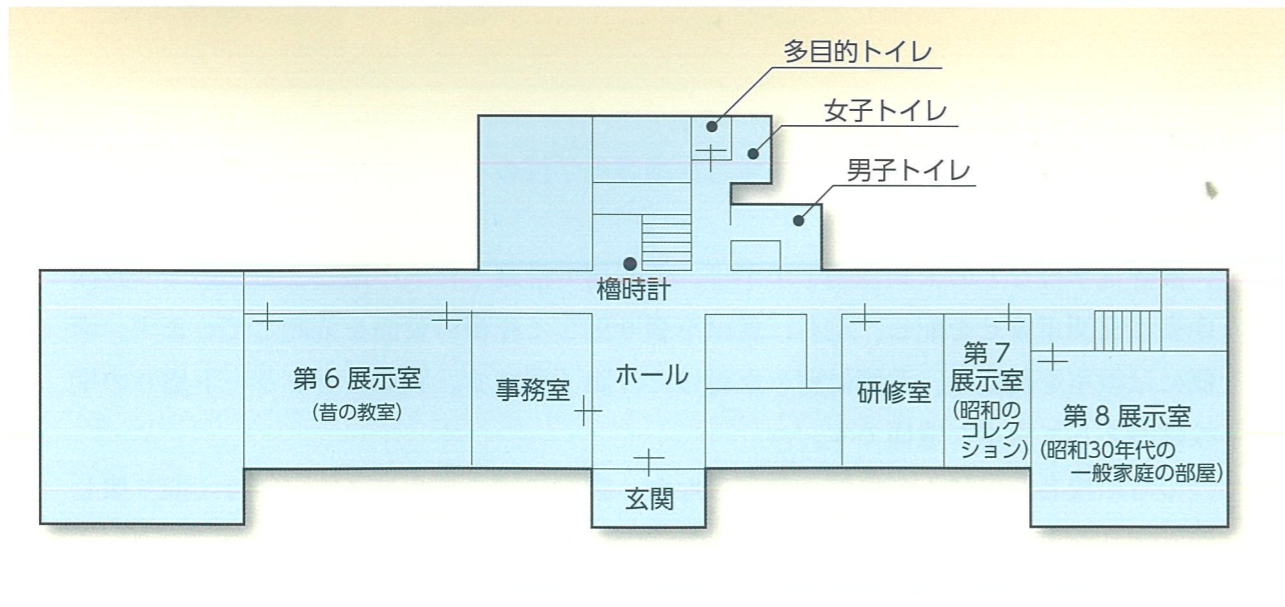
再現展示で取り上げる昭和30年代は、日本経済が敗戦から立ち直り、高度成長期に入り、人々の生活が大きな変貌を遂げた時代でした。家族や地域といった昔ながらのコミュニティが残る一方で、新しい時代を代表する「三種の神器」（白黒テレビ・電気冷蔵庫・電気洗濯機）などの商品が登場し、急速に普及するなど、みんなで変化を共有できた時代でもありました。この年代は世代を超えて「懐かしい時代」という共感を得ています。昭和30年代の展示や館内での体験を通じて、現在の生活とのつながりを感じ、当時に思いを馳せてください。

また、令和2年9月に第2・第3・第4展示室をリニューアルしています。

● 2階平面図



● 1階平面図



主な展示



櫓時計（市指定文化財）
日本に現存する最大級の和時計



はた織り機
明治時代から昭和にかけて、この地域で使用されたもの



土地利用の変化と農具の変遷



教育の部屋

再現展示



昭和30年代の一般家庭の部屋



昔の教室